

第5回 東日本大震災から学ぶべきもの

—13年間の歩み・疑問を抱える遺族と支援者

日時：2024年2月23日（金・祝）13時から15時30分まで
場所：みやぎ東日本大震災津波伝承館 思い致す場（多目的スペース）
（宮城県石巻市南浜町2丁目1-56）（会場30名限定）
主催：一般社団法人健太いのちの教室、陸前高田東日本大震災遺族連絡会、
一般社団法人大熊未来塾（実行委員会：3.11ネットワーク）
協力：公益社団法人3.11メモリアルネットワーク、専修大学法社会学研究室
*無料、<https://x.gd/TdHw1>より参加をお申し込み下さい、オンライン配信あり

参加申込用
QRコード



企画趣旨

2011年3月11日の東日本大震災で、2万人余りの方（災害関連死を含む）が亡くなりました。遺族により、なぜ津波事故が起こり大切な家族の命が失われたのかという疑問をいまだに抱えて生活し、活動を行っています。遺族の報告、クロストーク、支援者の声と意見交換を通じて、東日本大震災から学ぶべきものを考えます。

進行

1. 13年間の歩み —報告とクロストーク

戸羽初枝さん（陸前高田東日本大震災遺族連絡会）、木村紀夫さん（一般社団法人大熊未来塾代表理事）、田村孝行・弘美さん（一般社団法人健太いのちの教室代表理事）（コーディネーター：飯考行さん（専修大学））



戸羽初枝さん



木村紀夫さん



田村孝行・弘美さん



飯考行さん

2. 支援者の声

義岡翼さん（一般社団法人大熊未来塾）、猪股修平さん（ダイヤモンド社）、新田健さん（全国紙福島支局記者）



義岡翼さん



猪股修平さん



新田健さん

3. 質疑応答と意見交換

（告知 URL：<https://www.saibanhou.com/manabu05.html> 問い合わせ：田村孝行 tamuken@ark.ocn.ne.jp）